

丹波「学校を核とした地域づくり」プロジェクト (2024年度)

～子どもも大人も学び合い、育ち合う、誰もが楽しく参画できる地域づくりをめざして～

プロジェクトの目的とポイント

プロジェクトは3年目。「子どもも大人も学び合い、育ち合う、誰もが楽しく参画できる地域づくりをめざして」をテーマに、地域と学校の連携・協働のあり方について考え、学ぶことができる機会をつくり、地域学校協働活動に関わる人々・関心のある市民のために本プロジェクトに取り組みました。1年目、2年目は学びの場として「学校を核とした地域づくり講座」を実施してきました。今年度から、教育委員会主催による地域学校協働活動推進員等の地域コーディネーター人材育成のための研修が始まりました。

新たな取り組みとして、地域学校協働活動の現状と課題の認識をするためのツール開発を目指して、丹波市内の小学校2校と中学校1校と連携し、「地域学校協働活動マップ」を作成しました。また、学校教育、社会教育、家庭教育、生涯学習、地域づくりの垣根を超え、子どもから大人までが学び合い・育ち合うための「地域教育」について考えるフォーラムを1月に開催しました。さらには、教育委員会等の関連部署との打ち合わせや情報共有を行い、今後の連携に向けて協議を進めました。

主催: 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構(たんえん)
連携・協力: 丹波市市民活動支援センター／
丹波市教育委員会社会教育・文化財課 学校教育課／
丹波市まちづくり部 市民活動課／丹波市地域学校協働活動推進員／
丹波市立東小学校／丹波市立船城小学校／丹波市立柏原中学校



詳細はたんえんのWEBページに掲載しています

プロジェクトで取り組んできたこと

①調査・研究 地域学校協働活動マップのツールづくりとモデルマップの作成

地域学校協働マップの作成(モデル校3校)

モデル校:丹波市立東小学校・丹波市立船城小学校・丹波市立柏原中学校



②連携・協働 人材育成事業の開発や「丹波市版地域学校協働活動ハンドブック」の作成に向けた連携・協働

・地域学校協働活動推進人材等育成研修(全4回)の企画・運営

主催:丹波市教育委員会 受託者:たんえん(本プロジェクトとは別事業)

・ハンドブック作成に向けた打ち合わせと今後の連携・協働の確認

③学び・交流 「地域づくりはひとつづくり たんば地域教育フォーラム」の開催(1/19 参加者:51人)

○テーマ:「ほしい未来は自分たちでつくる ～地域づくりはひとつづくり～」

誰もが安心して暮らし続けることができる地域をつくるためには、子どもから大人までが、学び合い、実践するなかで、ゆるやかにつながっていくことが必要です。島根県益田市豊川地区における学校教育と社会教育の連携や、「対話」を通じた協働のひとつづくりの事例から学んでいきました。

○ゲスト:

地域自治組織「とよかわの未来をつくる会」

顧問 河野 利文氏

島根県益田市生まれ。49歳。豊川保育園 園長
豊川小学校学校運営協議会会長

○報告者:

・丹波市内の実践

東小学校学校運営協議会 会長 足立 恵宣氏

地域学校協働活動推進員 松井 崇好氏

・プロジェクトのふりかえり たんえん 蔦木 伸一郎



プロジェクトの成果

1. 行政による地域学校協働活動人材育成プログラムの予算化の実現と企画・運営のためのノウハウの強化
2. ハンドブック作成など、地域学校協働活動の推進に向けた行政との連携・協力関係の強化
3. 小中学校の教職員や学校運営協議会関係者との連携の強化